

まちの話題



九州大会・全国大会へ

8/5



大口中央中学校3年生の住吉璃音さんが教育長を表敬訪問し、100 mハードルと幅跳び競技の九州中学校陸上競技大会出場を報告しました。

九州大会は8月6日から熊本市のえがお健康スタジアムで開催され、100 mハードルで6位(14.91秒)、走り幅跳びで5位(5 m 43cm)入賞を果たしました。

住吉さんは、両種目で全国大会標準記録を突破していることから、8月20日から大阪市のヤンマースタジアムで開催される第46回全日本中学校陸上競技選手権大会にも出場しました。

心身の鍛錬

7/31



菱刈中学校空手同好会の3人が教育長を表敬訪問し、第15回九州中学校空手道競技大会出場を報告しました。

菱刈中学校1年生の小原佑菜さん・村山七海さん・井下望花さん(写真左から)は「団体戦相手では、1戦1戦を大切に戦います。みんなで協力して、確実に初戦突破できるよう頑張ります」と誓いました。

九州大会は8月9・10日、宮崎市のKIRISHIMA ツワブキ武道館で開催され、見事3位入賞を果たしました。

消防野球部が全国の舞台へ

天皇賜杯第74回全日本軟式野球大会に、鹿児島県代表として伊佐・湧水消防組合(登録名:大口消防署)が出場します。

7月28日に鹿児島相互信用金庫野球場で開催された県予選決勝では、8回に凶師選手のタイムリーで奪った1点を、尾上投手が守り抜き、1-0で接戦を制しました。

天皇賜杯全日本軟式野球大会は、社会人軟式野球の日本一を争う最もハイレベルな大会で、9月13日から長野県松本市を中心とする7会場で開催されます。



夏の夜の熱戦

8/17



伊佐市陸上競技場でナイター陸上が開催され、市内外の小・中学生を中心に約 170 人が参加しました。

当日は 18 時を過ぎても暑さの残るなか、参加した選手たちは日頃の練習の成果を出そうと、健脚を競いました。

100 m 走と 800 m 走にエントリーした霧島市立天降川小学校 6 年生の廣原悠慎さんは、「夏休みにたくさん練習したおかげで、タイムが縮まってうれしいです」と笑顔で話しました。

みんなで考えよう 人権のこと

8/1



伊佐市文化会館で人権同和教育研修会が開催され、伊佐市内の幼稚園や小・中学校の教員及び保護者、市職員や民生委員など約 430 人が参加しました。

この研修会は、同和問題をはじめとするあらゆる人権問題について、正しい認識と理解を深めてもらうために、毎年、伊佐市教育委員会が開催しています。

菱刈中学校の西郷まどか教諭による講話では、学校での人権教育活動の発表を行い、「私たち大人が人権問題について学び、教育現場や家庭で子どもたちに伝えていくことが大切です」と訴えました。

また、宮崎保さんによる講演では、自身の人権に関する体験を歌い、「人権とは、人が幸せに生きていく権利。差別とは、それをばむもの。人権問題を身近に感じてもらい、社会から差別をなくすきっかけにしたい」と話しました。

ニューファーマー 志高く

7/24



大口ふれあいセンターで伊佐市ニューファーマーのつどいが開催されました。これは、新規就農者を先輩農業者や関係機関が励まし、交流を深めることを目的として、毎年行われています。

つどいには、今年度新規就農者 6 人のうち 3 人が出席し、「先輩方にアドバイスをもらいながら、安定した収穫ができるよう頑張りたい」と抱負を語り、市や農協の職員による各種支援・助成制度の説明を真剣に聞いていました。

また、伊佐 YAD クラブの代表者は、「同じ農業従事者として助け合いながら一緒に伊佐の農業を盛り上げていきたい」と話しました。

清掃ボランティア

7/24



(公財) 鹿児島県環境保全協会伊佐支部の会員の皆さんが、大口市街地の散乱ごみ回収作業のボランティア活動を実施されました。

環境美化活動にご協力いただき、ありがとうございました。